

令和4年の10区隊報 (令和4年4月吉日)

内門昭久氏が2月10日に遠くへ旅立たれました。寿命という言葉がありますが、まだまだ早すぎる旅立ちだと思わざるを得ません。衷心より御冥福をお祈り致します。なお、3月28日に奥様から「昨日49日を済ませました。」との情報を入手し、区隊会慶弔規定に基づき、『お供え』をお送りしました。

前回、卒業50周年記念行事で『記念誌』が発行されてから今日までの間に、真館教官の他、前田氏、山原氏、そして今般内門氏と旅立たれ、10区隊生では総員9人となりましたが、諸氏に改めて哀悼の意を表します。

令和4年となりました。幹部候補生学校へ入校して以来、元号が、昭和(41年～64年)、平成(元年～31年)、令和(元年～4年)と遷り、56年経過しましたが、我々が一番耳にした、明治・大正・昭和と語呂は違っても何となく響きが似ているようで、余計に年月の経過を感じます。この間、それぞれの地域で、大規模震災に遭遇することはあったものの、在職間の殉職を耳にすることもなく現在に至りました。傘寿を既に超えたり、手を伸ばせば届く所まで長寿した諸氏も年毎に増えて居ります。

これを機に(近況を)一筆いただくようお願いしたところ、後掲したように池田区隊長を始め、多くの皆さんから投稿して頂きました。有難うございました。なお、区隊報発行時期は(小生の元気な間は)毎春を予定しておりますので、今後も随意に投稿頂きましたら掲載したいと思います。

ここ数年は、『コロナウイルス』による全世界的な蔓延が留まることなく、言葉を変えた危機に瀕していると言えると思います。健康管理には年令相応の警戒心を持ちたいものです。

また、ロシアのプーチンの恣意的な(?)欲望から発生した戦火が、社会主義国家に波及するならば、中国・北朝鮮・ロシアに取り囲まれている我が国は、足下に放火されようとしていると言っても過言ではないと思います。これには特に気持ちを引き締めたいものです。

皆様からの投稿 (毎年3月下旬迄にお届け頂くと掲載出来ます。)

『10区隊の皆さんへ』

元区隊長 現農民 池田智爾

皆さんお元気なことと思います。私は、今、56年前、未熟な自分であることを忘れて、皆さん達が幹部候補生学校に入校されたことに、指導者として行動できる喜びを抱いていたことを思い出しております。その後の皆さんとの生活も色々と思い出し、只管に未熟さを感じております。

いずれも、卒業と同時にこれらのことは、忘れ去られるのが普通であります。流石に一般大学で豊かな人生体験をされた感性の持ち主ばかりで、一年ばかりの御縁を現在まで大切にすることに感心しております。

お世話人のご苦勞もおありでしょうが今後とも、お元気で互いに切磋琢磨するような交流の場を続けていただきたいと思っております。

これからは、現世でお会いすることは難しいでしょうが、来世では、再び一堂に会し、一献傾けたいと思っております。



ところで、要望したいのは、私より先にお浄土に行き、先輩面をしないようにしていただきたい。私は、お浄土でも、はっぴりの指導者でありたいと思っております。

『防衛大学校3年間の勤務の思い出』

石井 佑

昭和49年3月16日、防衛大学校に転属が決まった。第4大隊第41中隊第411小隊指導官兼訓練教官であった。防衛大学校の勤務で覚えたことは、コンタクトブリッジだけのように思う。

昭和49年当時の防衛大学校は、本科学生が各学年500名で、2学年時に陸250名、海100名、空150名に組み分けされ、5個大隊各大隊400名で全寮制である。

学科は、人文・社会学科3分野、理工学系11分野で、1班から14班までに組み分けされる。訓練は、学年ごと、陸、海、空に区分され、訓練教官が担当する。

寮生活は、各大隊4個中隊、各中隊2個小隊に区分され、小隊指導官が担当する。

大隊指導官は、陸海空の2佐、中隊指導官は、同3佐、小隊指導官は、同1尉2尉が、2年から3年勤務する。

陸上の小隊指導官が集まって、開校祭で使用する重機関銃の調整が出来ずに、航空自衛隊の1曹に調整して貰っていた。後でこれを聞いて若手の小隊指導官を一括して嫌われた。また同期の小隊指導官が4階から学生の朝の行進を見て、1階の私に止めてやり直させたことがあり、5大隊の学生から嫌われることがあった、多分現在でもその当時の5大隊の学生は、私のことを嫌っている。

7月第2学年陸上要員の夏期訓練のため、北富士演習場に向かう。指揮官は、幹部候補生学校の前任区隊長後藤明敏2佐であった。射撃訓練が実施されたが、若手の小隊指導官に射撃係幹部を任せて、当初は射場係幹部を担当した。2射群の途中で後藤2佐から効率よく射撃訓練を進めるように指示された。射撃係幹部と射場係幹部を交代して、3射群から射撃指揮を担当した。小銃射撃の係幹部は、戦車大隊で十分に経験していたので約半分の時間で進行していった。後で後藤2佐から、戦車の幹部がこれほどスムーズに射撃指揮をするとは、思わなかったと言われた。訓練の最後に富士登山の管理要員を担当したが、特に支障も無く、訓練を終了することが出来た。

担当する4年生の1人が任官せずに退職したいと言い出す。通信学校のコンピューター担当者の所に連れて行き、自衛隊のコンピューターの状況を理解させる。後日、卒論担当の教授に連絡する。教授の説得により、退職を取りやめる。5年後、アメリカで再会する。カルフォルニアのUCLAバークレイ校でコンピューターの研究をしていた。別れの時、彼に自衛隊を退職して、コンピューターの道を歩むのも、一つの選択であることを話す。その後、自衛隊のコンピューターの第一人者として定年退職している。

昭和51年7月11日、3年生が、夏期訓練のため武器学校へ出発する。

土浦の武器学校へ向かう。翌12日武器学校を研修する。翌13日航空分校と武器補給処を研修し、勝田の施設学校へ移動する。翌14日施設学校を研修し、宿泊する。翌15日百里基地に移動し、北部方面隊を研修する学生を掌握し、YS-11で千歳を経由して、釧路空港に到着し、矢臼別演習場に向かう。第4普通科連隊と第27普通科連隊に申告し、部隊研修に入る。

昭和51年7月21日、滝川の第2中隊長を訪ねる。8月から防衛大学校第4大隊の中隊指導官の予定であった。不在のため面会できず。着任後二人の小隊指導官が不在しているが、心配することなく、着任するように伝える。その後帯広に向かう。29日帯広から札幌に向かう。射撃訓練を視察する。8月4日、学生を休暇に出発させ、5日札幌へ方面総監部に挨拶をする。6日防衛大学校に戻り申告する。中隊指導官の姿が見えないので、大隊に確認すると、本人の希望で大学本部勤務となっていた。当分の間、中隊指導官を兼務するように命ぜられる。

昭和51年9月20日、1学年の野外訓練の偵察に北富士演習場に向かう。目標までの距離を判定するのに、職種によって方法が異なることを発見する。機甲科は目標を目視して500メートルと判定するのに、特科は2万5千の地図で500メートルと判定した。その間に普通科は徒歩で目標まで歩き500メートルと判定していた。

昭和51年9月24日、後任の中隊指導官平野3佐が、着校する。当分の間第3小隊指導官の職務を代行または援助する。

昭和51年10月12日、19日まで、1学年の野外訓練を北富士演習場で実施する。10キロメートル行軍の途中で、田熊碑に参拝し、防衛大学校の先輩で戦車の転落事故で学生を助けて殉職した話をする。

昭和52年2月7日、第11戦車大隊に転勤の内示が出る。(後略)

『近況』

石綿成行

仕事は、区の学校薬剤師として小学校、中学校各1校を担当、ドラッグストアを退職して3年、サンデー毎日の生活

健康は、現在 循環器内科、泌尿器科、整形外科、耳鼻科、歯科、内科の診察券を保有しており、循環器内科、泌尿器科は3ヶ月に1回投薬、脊柱管狭窄症治療で整形外科は毎週リハビリその他スポーツジム毎週トレーニング、ゴルフラウンド月2～3回(Bの同期生諸氏および衛生科後輩、その他)趣味は、毎年春の桜、「一本桜」にこだわって撮り続けています。

コロナ禍でいけない日を嘆くと妻は「桜は来年も咲きますから」と、桜は樹齢何百年、私が来年も行けるか!!それが心配なのだ!

家族は、妻はまだ薬局勤務継続中、毎朝コロナに暴露の危険を軽減するため車で送ってます。都内在住の長男一家、孫娘が今年高校進学、長男は来年高校受験、親の考えと本人の行きたいところの相違で悩んでいた。

名古屋在住の次男一家、長男は大学3年、長女は大学入学決定、次女は進路選考中

長女は独身看護師、今は多忙を極めている。そして今は親父とラウンドしたくないほどの腕前とか? 父母が生きた歳を越える年齢に至りさてこれから如何に後片付けをするべきか、友の曰く「晩節を汚すな」と交通事故を起こさない、出火元にならない、転倒しないことに気を付けて過ごしたいと思えます。

池田区隊長殿、十区隊の諸兄、高齢者の域に達してます、ご自愛を祈ります。再会を期待して。

『近況など』

井田賢治朗

昨年度と同じようにこの一年も特に何もすることもなく消光した。毎日の日課と云えば、おおむね5時起床、ストレッチ体操を20分ほどしてその後1時間乃至1時間半ほど散歩する。朝食後は新聞読み、読書。午後はまた散歩。その後再び読書等。テレビはほとんど見ない。同居している孫達が休みのときは相手をすることがある。散歩は1日1万歩を目標にしている。高齢者の健康維持には良質な食事・睡眠・運動が最低限必要であるらしい。運動と云っても4月に82歳になる身としては散歩と柔軟体操だけである。食事はいつも書いたように毎日大根おろしと生姜は欠かしたことが無い。匂いが家族にとって不評であり肩身の狭い思いをしている。睡眠は8時間弱取っている。齢を取ったせいか平均2回トイレに起きる。この際、引き続き眠れないときは起床して読書することにしている。勤務しているときは明日への悪影響を恐れて無理やり眠ろうとしていたが、昨今は眠れてよし、眠れなくてもよし、気楽なものである。余生はいいなと思う。

読書は最近はおっぱら佐藤愛子を読んでいる。彼女は今年99歳。莫大な量の著作があり、市の図書館にも200冊ほどあり(直木賞受賞作の『戦いすんで日が暮れて』ももちろんある)、今まで40冊ぐらい読んだが出来るだけ読んでみたい。特に印象に残っているのは『私の遺言』である。彼女は50歳ごろに北海道の浦河という所に別荘を建てたが、そこでいろいろな霊的なことを経験するようになり霊的な体質になったらしい。それまでは死後の世界とか霊の存在などは信じていなかったが、このことがあってからあの世の存在・靈魂の存在を確信するようになったとのこと。霊的なことの体験を通じてかの有名な美輪明宏、江原宏之等の霊能者と友達になったらしい。

自分は決して霊的な体質ではないし幽霊とか火の玉なども見たことがない。しかし自分は小さい時からあの世があると直感的に信じてきた。父母が信仰深かった影響もあるが、もしあの世と云うものが無く、死んだら無になるのだったらいまま何のために生きているのか分からない。魂とか霊と云うものがあって、生まれ変わり死に変わりして魂を進化向上させるのが人間である、と直感的に思っていたし今でも思っている。人間には守護霊と云うものが附いておりその者を護っているらしい。世の中

にはあの世とか霊魂など、目に見えないものを信じるのは非科学的といって一切信じないしその存在を否定する人もいる。しかし目に見えないから信じないというのであれば電波や音波などは存在しないことになり、これこそ非科学的である。あの世・霊魂があると信じて毎日を有意義にかつできるだけ正しく生きて行きたいと思っている今日このごろです。 (2022年3月中旬記)

『初体験 (?)』

伊藤 功旺

夕方4時に入浴するのが習慣である。その日も同様の行動をした。ところが、気が付いたのは、救急車の内であった。意識を失っていたのだろう。まったく記憶に無い。

浴槽内の把手は握っていたらしい。人間、意識を失ったまま死することは、当然の事乍ら何の悩み・苦痛の無いもので、幸せなのだろうと思った。

帰宅できたのは、当日の21時50分ころであった。

今日も、80歳の一日を過ごしている。

『近況』

伊藤 松一

(前略) お陰様で日々平穏に生活しております。定年から7年で会社が倒産するハプニングで年金生活になりましたが、これまで生活できたのは自衛隊のお陰です。定年後は、自衛隊父兄会(現家族会)の県連・市会長、隊友会県連役員・支部長、市嘱託の交通指導隊員、地元小学校の安全パトロール等々多少なりとも社会貢献できたものと思っています。

家では妻と2人ですが、息子2人と孫2人(男・女)が自衛官です。

健康面では手術を要する病気や怪我も無く、日常的な薬の服用もありません。メタボ健診で栄養指導を受けて以来、妻が厳格に食事管理をしてくれているお陰と感謝しています。

秋田県ではイージス・アショアの配備で話題になって結果は撤回されましたが、県知事始め反対の意見のみで終わったのは残念でなりません。ロシアのウクライナ侵略が行われている時、日本の安保も危機にあると覚悟しなければならぬ事になっていると思います。

これまでに賜りましたご厚情に感謝申し上げ残りの人生を全うしたいと思っています。

『ガンに負けない』

井上 高大

今春4月2日に80歳の大病を迎える矢先、砂子氏から「君は、度々大手術をしたから現在の健康状態や近況報告をするように依頼されました。今では当時の闘病生活から解放され随分ポジティブな楽しい毎日を送っております。病歴は今から23年前の膵臓の手術に始まり膀胱ガン、6年前の肝臓ガン手術後、健康状態はむしろ上昇気味です。現状の体調を私なりに分析すると3つの要因が浮かび上がりました。

その1 農業と健康 生来植物を育てる趣味がありましたが2016年の10区隊報で池田区隊長の肉体美の写真を拝見して感動のショックを受けました。農業は健康のカギではないかと思い、一念発起で本格的に取り組む決断をしました。現在の栽培場所は5Fの屋上、60坪の畑2枚で、野菜・果物類

を栽培しています。スーパーにある殆ど野菜類、果物類は13種、愛情を持って育てています。植物を大事にすると決して裏切らないしその数倍の収穫をプレゼントしてくれます。植物との関りが健康の礎、そして楽しみ、喜び、幸せを与えてくれます。利点の例を挙げるとイチゴ時期には女性や子供たちが感動して寄ってきます。余剰作物は周りの人たちとの交流のツールとして日常生活に非常に良い影響をもたらしてくれます。その他1年間ぐらいの色々なジャムや果樹酒を作れます。農業は健康と生活費の助けにも非常に貢献してくれます。

その2 農業は体力増強の先生 四季を通して様々な要求をしますが、それに応えることにより体力が自然に付きます。寒暖に耐え、重軽量労働に耐え、継続的な忍耐力と精神力、正に幹候の訓練の超ミニ版と感じて農作業しています。

その3 食生活はガンや健康に良い食材を取るように心掛けています。 同時に30回噛むこと(あるアスリートがどの部屋にも拓さんの30という数字の貼り紙をしており、また人肌ぐらいの水しか飲まないを参考にしています。)等を実行してから便や、内臓の状態が飛躍的に向上しました。また、この10年前より買い物や料理をしており、今では主婦業を楽しんでいます。

最後に参考にして欲しい提言です。 自分の身体を日々鋭く観察すると、青、黄、赤のシグナルを受出来るように敏感になると思います。脳と体の関係では是非是非見て欲しいノーベル賞受賞の山中教授のNHKスペシャルドキュメント(人体5~6回シリーズ)です。人の脳、血液、筋肉、あらゆる臓器はネットワークされ、常に会話していると解りやすく紹介されました。この番組を見て自分の体の観察と何か通じるものを感じました。

私の父(76歳で没)とは病名、病歴が殆ど同じで、80歳を目標に生きて、クリアできたので、これから85歳の旅に強い気持ちで出発します。

区隊長、同期の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

『近況』

浦上 隆之

2年前の4月脳腫瘍(横・7cm×縦・3cm)の摘出手術を受け、約3ヶ月の入院生活で若干の後遺症は残ったものの何とか命だけは助かり生還しました。幸運にも神様から「もう少しだけ生かしてやる」と命を授かったものと考え、一日一日を自分らしく、楽しく、健康的に過ごしたいと思っています。コロナ禍であまり出歩くことは出来ませんが、リハビリを兼ねて毎日近くの川土手のウォーキングコースを約3キロ程度歩くのが日課になっています。コロナの収束も予想がつきにくいこの頃ではありますが、また区隊のみなさんと会える日を楽しみにしております。

『近況』

黒田 健

(前略) 近況を、とのことですが、馬齢を重ねているだけの小生、今は、只只、家庭内のことをしているだけです。かつては、多賀城の東北歴史博物館や、仙台市文学館で、各種催し事に参加していたのですが、今はみんな止めてしまい、外出するのは、近傍での買い物や、散歩のみという状況です。

閑暇の中で、此の頃、気に留まっていることといえば、この3月16日の、宮城・福島での、震度6強の地震でしょうか。奇しくも、11年前の3月11日の、東日本大震災が思い起こされたことです。今回の方が揺れが強く、時間も長かったと言う人が沢山いらっしゃいました。前回は、我が家も、天井のボードが落下したり、家具、ガラスが散乱した上、津波の恐れがあるので、避難所で2晩を過ごしたことを思うと、今回は、エアコンが故障して、新しく購入しなければならなくなっただけで済みました。

そして、3月16日以降、今日(3月30日)迄の2週間で、東北では、震度3以上の揺れを19回数えているとのこと。仙台に限っても、体感する地震が数日置きにある感がしています。時には揺れていないのに、揺れている感がする有り様。桑原・桑原。

『転 倒』

潮路 忠弘

昨年(令和3年)2月24日の夜、酒を飲んで帰宅途中で転倒し頭部外傷、救急車で病院に運ばれ手術を受ける。私は後頭部の手術後まで意識がなかったので、その間の記憶がない。診断書には、外傷性くも膜下出血・脳挫傷・急性硬膜下血種等書かれてあり、先生より「思考力・判断力・計算力等すべて退化する」と言われ、ショックでした。毎月CT検査で、脳内の水が抜けず、半年以上かかった。この1年体力の衰えは著しく、運動不足から糖尿病の持病も悪化し、ダブルパンチです。

傘寿を迎え、70の坂は越えられても、80の坂にマサカという坂があったと反省する今日である。

『近 況』

砂子 茂市

コロナ蔓延期間中は、自分でも信じられない程ほぼ完全に安全行動です。

毎月行っていた、小学校同級生(男女)7名前後とのカラオケ(カラオケボックス)、高校柔道部同期生等7名前後とのカラオケ(スナック)、高校同期生(男女)8名との旅行又は食事会等は中断(この4月11日に再開：昼食にビール中ジョッキ1杯)、高校同窓生(男女)約20名前後との写真撮影会(この4月4日に再開：飲酒なし)。

年1回行っていた、小学校同期生(男女)12名前後との旅行、中学校同級生(男女)8名との会食、自衛隊同僚4名との宿泊忘年会、中方在住の幹候校同期生約20名(一部配偶者を含む)との春の会食。

同期・丸山氏との年数回の会食等々定期的なものは全て、中断の状態です。

毎年、6月16日に東京で行われる『不惑会総会(2前から開催延期)』にも2年間は欠席状態です。そのほか、近傍セミプロによる『江州音頭・河内音頭』の会に所属し、盆踊り等の音頭取り(夏場に12~15か所音頭取り)をしていたのですがこれまた練習・本番共に中断しています。

なお、身体の方は、2箇所の病院・医院でほぼ2ヶ月毎に定期的に行なわれている血液・尿検査、心電図検査、腹部エコー検査等々については、高齢者特有の病(若干の高血圧・糖尿病)以外は問題ないため、毎晩忘れることなく胎内をアルコール消毒しています。

3月22日、先祖を(故郷・小豆島の墓地以外に)分納骨している大阪四天王寺にお参りしましたが、翌日から蔓延防止等重点措置が全面解除されるとあって、境内は例年の彼岸と殆んど変わらない位の人

出があり、お参りするにも行列が出来ていました。（下手すると感染するかな？と心配しながらも列中の一員となりましたが現在までは何とか無事の様子です。）市街地も人が溢れ出していますが、案の定全般的に患者が増加しているのはご承知の通りです。

家族としては、夫婦：大阪在住、長男夫婦・男児(20 大3)：横浜在住、長女夫婦：滋賀在住、男児(27 社会人)・女児(24 社会人)：ともに東京在勤と、全くバラバラに過ごしており、会うこともママならないのが若干の不満です。当面の目標(願望)は、孫たちの結婚とその『ひ孫』との対面です。

『定年、25 年経過して』

高橋 重夫

みなさん元気ですか、自衛隊定年、早くも 25 年経過しました。

さて、この期間どのように暮してきたか「健康と通院」、「近所隣人、元同僚との付き合い」、「投資と金儲け」について以下、既述します。

1 健康と通院

歯科、高血圧、脳梗塞(兆候あり)、前立腺肥大、腎臓病(塩分摂り過ぎ)、痛風(たらこ、シズコ、ビール等飲食)のため、毎月、最低でも 2 ケの病院で診断してもらっております。

特に、脳梗塞は、血液サラサラの薬を飲んでいきますので、歩行等に気をつけています。血圧は 81-142 でやや高いです。

塩分 1 日摂取量 10g 今のまま注意すれば医者から人工透析不要

お互いに健康に、暴飲暴食に気を付けましょう。

2 近所隣人(ボランティア)、元同僚との付き合い

高齢者一人暮らしの支援として妻がゴミ捨て専門に、私は草刈と野菜(種蒔きから収穫まで)を担当、8 月、関係者で収穫、楽しいです。 野菜の種類：キュウリ、ナス、トマト、いんげん豆

また、一部の元同僚等との付き合いは、お互いにそれぞれ特産物等交換に、私は、手作りのたくあん漬け、

松前漬け、地元産笹かま、松島産海苔等を送り、元同僚からはリンゴ、モモ等の果物をいただき、妻も喜んでいきます。

体力とお金がかかるので、このようなお付き合い、いつまでできるか・・・

3 投資と金儲け(『金儲け』という表現は不適切ですね。)

投資には、我々庶民に近い投資として、株、投資信託、リート(主に賃貸料)その他たくさんの商品があります。私が投資に利用している金融機関は、郵貯 2 ケ口座、信託銀行 2 ケ口座、地方銀行 2 ケ口座で、証券会社 2 社から株を購入しています。購入商品の割合：株 6.7%、リート(米国：50%)、リート(日本：20%) その他(日米：23.3%)

毎月、分配金(配当金)：13 万円～17 万円を受け取っています。

その他に、含み益(未取引の見込収益)が毎月約 7.5%発生し約 5 万円値上がりします。上記収入は、姉(88 歳・国民年金のみ受給)の介護入所費用として、支払っています。(費用：毎月 20～22 万円)

10 年目になります。介護入所費用請求書を別紙で添付しますので、将来施設を利用される方は、参考

にして下さい。

私は、金儲けで投資をやっているのではなく、姉の介護費用支払いのために投資等やるときは、第三者のマネ、自分の年齢、やるとすれば必ず金融機関を経由してください。世の中には、おいしい話はありません。

最後に、お互いに詐欺にあわないよう注意しましょう。 (最終ページに添付書類があります。)

『近況』

田中 典昭

今日は2022年3月29日、さくら満開の季節を迎え、本来であれば人は一年の中でも最も気持ちが高揚する時なのに、未だに終息の気配すらないコロナ禍騒動にいささかうんざりしています。

他方、世界に目を向けると、ロシアによる突然のウクライナ侵攻、ならず者国家北朝鮮のミサイル発射による無謀な挑発行為、中国の台頭などなど、日本を取り巻く国際情勢(環境)はますます厳しさを増しているように感じます。

孫の時代の日本は果たしてどうなっていることか、つまらぬ心配ばかりする昨今です。

先般、砂子編集長から多分これが最期になるであろう近況報告の投稿依頼があり、早速ペンを握ったものの最近では体力・気力の低下とともに思考能力の低下も著しく、思うように書くことが出来ず残念です。

さて、私の日常生活ですが、相変わらず病院通いが日課の日々を過ごしております。幸いなことに、わが自宅(マンション)周辺には病院、薬局、葬儀社が数多くあり、老人にとっては住みやすい環境が整っており、助かります。

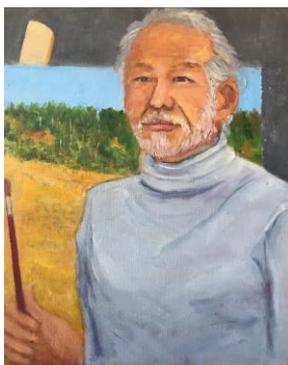
もともと無趣味、出不精ですので特別なことでもない限り家に籠もる生活です。妻からは「たまには散歩でもしたら」と最速されることがありますが、丁重に断ることにしています。

ただ、趣味といえるかどうかわかりませんが、昔から歌(特に歌謡曲)が好きなものですから、通販で大量のCDを買い求め毎日聞くことが今では唯一の楽しみです。

多分こうして人生の幕を閉じるのかと思うと若干淋しい気もしますが、『わが人生に悔いはなし』と思うことにします。

『低山のたのしみ』

野村 誠



【油彩6号 令和4年1月】

コロナ禍の影響は登山にも及び、ここ2年程は山小屋泊もままならず、結果近場の奥多摩、奥武蔵、秩父辺りの低山に日帰り登山を楽しんでいる。

この低山登山、最近ではすっかりお気に入りのスタイルになってきたが、まずは近くて手軽に行ける、一般登山道からちょっとルートを外すと下山まで誰にも思わずに山歩きを楽しめたりもする通好みのルートなどもあり、また気に入った場所があるとスケッチをしたり写真を撮って油絵の材料を探したりすることもでき、その魅力

はつきない。

週一の登山を目指しているが、去年は30日山を歩き、山の油絵も4、5枚描いた。

毎年描週一の登山を目指しているが、去年は30日山を歩き、山の油絵も4、5枚描いた。毎年描きぞめは自画像として7、8年になるが、これは今年の自画像である。

男前に過ぎるという声も聞こえてきそうだが、そこは自画像、何とでもなる。

皆さん、元気に再会の日が早く来ることを祈っています。

『近況』

増本 成己

ウクライナのことをテレビで毎日のように放映されていますが子供の悲惨な状況を見ると胸が痛くなります。私、膝と股関節の人工関節置換手術を受け3年を過ぎましたが今では痛みから解放され普通の生活に戻っています。楽しんでいたスキーとダイビングはリスクが大きいのので断念し今は週3回の卓球と週2回の水泳を楽しんでいます。最近では1年3カ月前に急性大動脈解離を患いました。11月に庭木を剪定するため身体を何日も寒い中に晒したのが悪かったようで作業中に猛烈な痛みが出て初めて救急車に乗りました。発症した場所が自宅だったので幸いしましたが場所が悪かったらあの世に行っていました。寝たままの状態です3日間降圧剤の点滴治療を受けたあと2週間で退院し現在に至っています。処置が早かったので手術をしなくて済みました。血圧を下げる薬を三種類処方されましたが今では飲んでいません。薬を飲むと車を運転中に突然眠くなったり信号を見落としたり脚立に上がると落ちそうになったりとかがあり、特に車を運転中に事故を起こすと自分のことだけでは済まず主治医の反対を押し切り飲むのを止めました【自己判断です】。日本生まれの百薬の長・別名仏教用語で般若湯を毎日飲んでいきます。お迎えが来たら受け入れる覚悟です。卓球と水泳の他に絵を描いたり『色鉛筆教室』燻製でハムを作ったり『ハム同好会』スズ虫・マツ虫等の虫を飼ったり『日本鳴く虫保存会』メダカを飼ったり『メダカ同好会』で暇を潰しています。年齢も80歳を過ぎたので四苦（生老病死）を味わいながら普通に毎日を過ごせればと願う今日この頃です。

『久留米訪問』 丸山正道（編集者注：丸山氏は、本年2月に久留米を訪ねられたそうです。）

有難う。高良山の諸氏の写真、5、6年も前なんですね。元気な姿で、時計が止まった俣でした。高良山からは、霞で背振は見えませんでした。投稿は僭越ながら、させて貰い、お手を、お掛けします。宜しく願いいたします。お元気で～。（^）

幹候校の北に聳ゆる明星山よりの鳥瞰は、如何なりやと、思い立ち、夜行バスに乗り、麓で登山口を探してウロウロ。登山グループに遭遇、リーダーに誘はれ、頂上では、皆さんとモグモグ、ダベリング。楽しき一刻。霞の彼方の幹候校を眺むれば、郷愁の念、沸き立ち、眺め続けて立去り難き心情。下山後、宮門前で若き衛士さんと談笑。次は、高良山登山、小腸の如き、曲がっても曲がっても、やっと広場、次は爆弾三勇士碑、農業センターの妙齢の方に案内されるも、レリーフは剥奪改竄、残念。西鉄久留米駅より国鉄久留米駅へウロウロ、パット煌煌たるステンドグラスの駅舎。そして帰神。

『近況』

宮崎 昭三

巣ごもりも3年目を迎え変化のない単調な生活を送っております。交流の機会も少なくなり通院と散歩以外は1日中テレビやパソコンの前で時間を過ごす日々です。ロシアのウクライナ侵略以来悲惨なウクライナの状況に涙することもあります。一方ウクライナ国民の愛国心の強さを目にし驚きの気持ちと共に日増しに応援の気持ちが高ぶっています。早期にウクライナの有利な条件下でこの無残な状況が終結することを願わざるを得ません。また我が国がこのような状況になった時日本国民がこのような心情で対応してくれるだろうかなど考えてしまいます。ただ今回の事を契機に特に若者世代でもこのような状況への我が国の備えについて考える必要性についての意見がだんだん増えているように感じ意味のある真の防衛論議がなされることに期待をしております。

いつ終わるか見当もつきませんがとにかく早く終わってほしい、そればかりを祈りつつ毎日テレビにかじりついております。

『今日この頃おもう』

山口博美

学部は1年間留年したので、久留米の幹侯校に入隊したのは23歳の年である。自衛隊に約6年勤務したが、退職して直ぐに県下最大の不動産会社に入社した。

そこで社長秘書の辞令を受け、日夜社長と行動を共にした。短い期間であったが多くの学び、その後の生き方をそこで確実に決まった。社長から新たなセクションをつくるので、退職せずに取得した資格をそこで生かすように説得を受けた。不動産鑑定士は売り手市場であったので、多くのスタッフを抱えている規模の大きい専門会社からの誘いも受けた。いずれも迷ったけれど、独立開業を目的としていたので土地勘を熟知するため市内の個人事務所を選んだ。外見の小規模からは全く予測できない、繁盛したきわめて多忙な鑑定事務所であった。実務を通して多くの経験を積んだ。短いサラリーマン生活であったけれど、両社長に今でも深く感謝している。

自衛隊を辞めてから正確には36年間不動産鑑定業と不動産取引業の大海を泳いだ。

それを終えてから建築デザイン学部に入社し、大学院を合わせ約10年間在籍した。本業はそれなりに「残す物」があったが、学問は何も無い。

学問というものは元々そのような期待物は無いのかもしれない。

不惑会 55 回定例総会 (3年ぶり) の案内 日時: 6月16日 1200~1500

- 受付開始: 1145 ~ (場所: グランドヒル市ヶ谷 TEL: 03-3268-0111)
- 行 事: 1130 ~ 靖国神社参拝 (希望者は、1120 迄に参集殿前に各個集合、参拝料: 会負担)
1200 ~ 1230: 音楽演奏 (1200 までにグランドヒル市ヶ谷集合)
1230 ~ 1300: 総 会 (会長挨拶・会計報告・役員選出)
1300 ~ 1500: 懇親会
- 会 費: 7,000 円 (当日会場にて支払い) (同伴者歓迎: 同伴者無料)
- 申し込み: 総会・靖国神社参拝希望者は、5 月末日までに 野村氏宛 (電話: 090-4007-4167)